資料1別紙２

羅臼岳登山道におけるヒグマ危険遭遇事案の発生および登山口の全面閉鎖について

7 月 9 日（木）午前、羅臼岳の登山道において、下山中の登山者（60 代　男性　単独）がヒグマに追いかけられ、クマ撃退スプレーを噴射する危険遭遇事案が発生いたしました。これを受け、知床ヒグマ対策連絡会議では人身事故のリスクが極めて高い状況（LEVEL4：極めて危険）と判断し、登山者の安全を確保するため、7 月 9 日 13 時 30 分をもって羅臼岳、硫黄山、および知床連山縦走路のすべての登山口を緊急閉鎖いたしました。
事案の概要および現在の対応状況について、以下の通りお知らせいたします。

1. ヒグマ危険遭遇事案の概要（聞き取りに基づく）

- **発生日時**：令和 8 年（2026 年）7 月 9 日（木）11 時 20 分頃
- **発生場所**：羅臼岳・岩尾別コース 「オホーツク展望」付近
- **事案の発覚**：登山者本人から下山後の通報
- **事案の経緯**：
    - 単独の登山者が下山中、右後方よりヒグマ 1 頭が走って向かってきたため、登山道外の北側斜面（約 20m 下）へ逃げた。
    - 斜面を下った先にもヒグマが追いかけてきたため、距離が 3〜5m まで迫った段階で持参していたクマ撃退スプレーを噴射しました。
    - スプレー噴射後、数分間の膠着状態を経て、ヒグマは谷側へ逃げました（ロスト）。
    - 登山者はその後無事に自力下山を完了しています。ヒグマによる直接の負傷はありません。
- **ヒグマの特徴**：成獣サイズ、体毛は金色がちで、顔が黒っぽい個体。

2. 登山口・ルートの閉鎖状況（LEVEL4：極めて危険）

当日 13 時 30 分より、安全確認のため以下の対象エリアのすべての登山口を全面閉鎖し、新たな入山を禁止しています。

- **羅臼岳（岩尾別コース）**
- **羅臼岳（羅臼温泉コース）**
- **硫黄山（硫黄山コース）**
- **知床連山縦走路**

【閉鎖期間について】 この閉鎖措置は**最短で 7 月 14 日（火）まで継続**されます。現地調査等の結果を踏まえた再開の判断については、**7 月 14 日（火）中**にあらためて発表いたします。 なお、羅臼湖周辺（LEVEL1：通常）については事案が発生していないため通常通

り開放していますが、利用にあたっては十分な注意をお願いします。

3. 発生当日の対応および山中滞在者の安全確保

- **日帰り入山者の安全確保**： 通報受領後、即座に関係機関（環境省、知床財団、斜里町）が連携して入山し、登山者の下山誘導および安全確認を実施しました。日帰りの登山者（計 11 名）については、同日 17 時過ぎまでに全員が安全に下山したことを確認済みです。 （入山前チェックシート・聞き取り・駐車状況　等）
- **山中滞在者への対応**： 7 月 8 日から知床連山縦走登山を行っていた利用者がいましたが、この滞在者に対しては下山において遭遇リスクを回避できるよう、関係機関等による連絡確認を実施し、10 日に安全に下山したことを確認済みです。

4. 今後の現地対応方針

7 月 9 日夕方、関係行政機関等による協議（知床ヒグマ対策連絡会議）を緊急開催いたしました。7 月 10 日（金）以降、専門スタッフによる現地調査（痕跡調査および事案発生現場の確認）を速やかに開始し、当該個体の行動分析とリスク評価を進めてまいります。

5. その他

登山者の氏名等の情報の公開は致しません。また、現地調査の日程等についての公表は致しません。

【本件に関するお問い合わせ先】 斜里町役場 環境課 / 知床ヒグマ対策連絡会議 事務局
（※最新の情報は、公式ウェブサイト「知床情報玉手箱」等でも随時更新いたします）

羅臼岳登山道における登山口の全面閉鎖解除について

7 月 9 日（木）午前、羅臼岳の登山道において、下山中の登山者（60 代男性／単独）がヒグマに追いかけられ、クマ撃退スプレーを噴射する危険遭遇事案が発生いたしました。これを受け、知床ヒグマ対策連絡会議では人身事故のリスクが極めて高い状況（LEVEL4：極めて危険）と判断し、登山者の安全を確保するため、7 月 9 日 13 時 30 分をもって羅臼岳、硫黄山、および知床連山縦走路のすべての登山口を緊急閉鎖いたしました。

7 月 10 日（金）、7 月 14 日（火）の計 2 回、専門スタッフによる現地調査（痕跡調査・事案発生現場の確認・事案に関与した個体の捜索）を実施したところ、登山道上に問題となるヒグマや新たな痕跡は確認されませんでした。知床ヒグマ対策連絡会議において管理計画に定められたフローに基づき協議した結果、7 月 16 日（木）に各登山口の閉鎖を解除いたします。

登山口の閉鎖は解除されますが、知床はヒグマの生息地であり、常にヒグマとの遭遇のリスクはあることから、リスクを受容できない場合は、計画を中止・変更してください。

1. 閉鎖解除日

令和 8 年 7 月 16 日（木）

2. 登山口・ルートのレーティングについて

7 月 16 日（木）から下記のレーティングとなっています。

- 羅臼岳（岩尾別コース）　　：「極めて危険」⇒「警戒（Level3）」
- 羅臼岳（羅臼温泉コース）　：「極めて危険」⇒「情報不足」
- 硫黄山（硫黄山コース）　　：「極めて危険」⇒「警戒（Level3）」
- 知床連山縦走路　　：「極めて危険」⇒「情報不足」

※「情報不足」は、登山口の閉鎖により情報が無く、現地調査等も行なわれていないもので、ヒグマが存在しないことを示すものではありません

※登山道は閉鎖解除となりますが「安全」という事ではなく、常にヒグマとの遭遇リスクがあります。リスクを受容できない場合は、計画を中止・変更してください。

※最新の情報は、公式ウェブサイト「知床情報玉手箱」等でも随時更新いたします。
（https://center.shiretoko.or.jp/i-box/#climb）

3. 登山に係る注意事項

知床での登山には十分な知識と装備が不可欠です。これから登山を計画されている方

は、次の事項を徹底するようお願いいたします。

１）単独での登山を避ける

単独での登山を避け、複数人での行動を計画してください。

２）クマ撃退スプレーを必ず所持する、いつでも噴射できるように装備する

クマ撃退スプレーは、知床登山の基本装備です。自身で持参するか、知床自然センターおよび知床羅臼ビジターセンター等でのレンタルサービスをご活用ください。

ヒグマと遭遇しないため、常に周囲を注意し、見通しの悪い所では声を出したり、クマ鈴を携帯するなど、人の存在をヒグマに知らせましょう。

※知床自然センター　　：北海道斜里郡斜里町大字遠音別村字岩宇別 531 番地
TEL：0152-24-2114　FAX：0152-24-2115
開館時間：8:00～17:30

※知床羅臼ビジターセンター：北海道目梨郡羅臼町湯ノ沢町 6-27
TEL（0153）87-2828
開館時間：9:00～17:00

3）下山時は特に注意する

下山時は下り道が多く、気付かないうちに歩行速度が速くなっていることがあります。そのため、意識的に速度を落とし、偶発的なヒグマとの遭遇が起こらないよう、特に注意しましょう。

特に 650m 岩峰～オホーツク展望間は、夏場はアリを食べにヒグマがたびたび目撃されているので注意してください。（※最終ページ参照願います）また、疲労が蓄積しているとヒグマに対する警戒レベルも下がる場合もあるので、最後まで警戒して下山しましょう。

4）登山計画書を必ず提出する

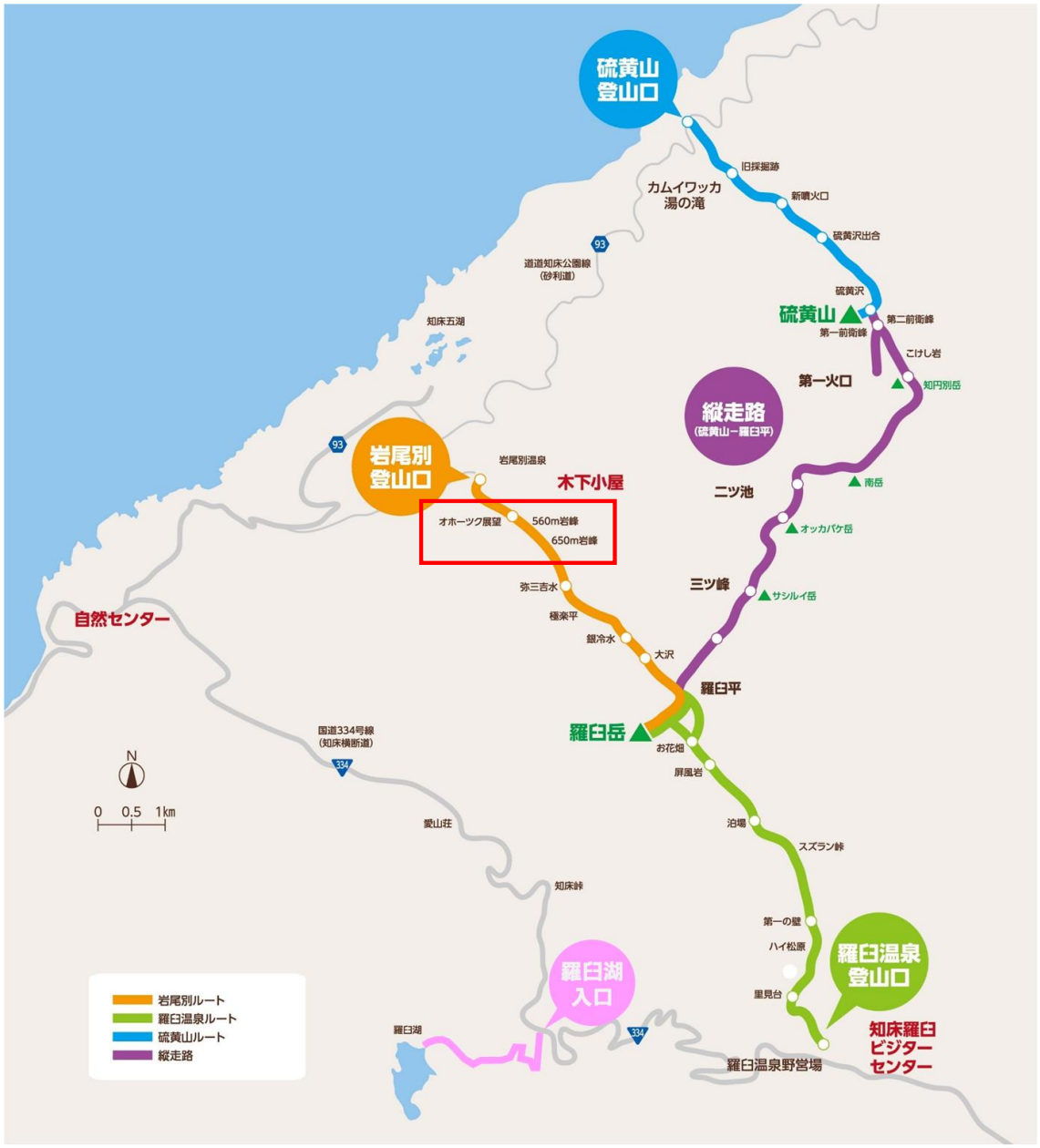
余裕ある入念な準備を心掛け、登山前に**必ず登山計画書**を提出してください。

※登山計画書の提出先およびフォーマットはこちら

https://www.police.pref.hokkaido.lg.jp/info/chiiki/sangaku/006-climbing_plan/006-climbing_plan.html

※ぜひこちらのページをご覧ください
知っておくべき知床登山の心得
https://policies.env.go.jp/park/shiretoko/trekking/

【本件に関するお問い合わせ先】 斜里町役場 環境課 / 知床ヒグマ対策連絡会議 事務局
（※最新の情報は、公式ウェブサイト「知床情報玉手箱」等でも随時更新いたします。


硫黄山
登山口
旧採掘跡
カムイワッカ
湯の滝
新噴火口
硫黄沢出合
93
道道知床公園線
(砂利道)
硫黄沢
硫黄山
第二前衛峰
第一前衛峰
こけし岩
第一火口
知円別岳
縦走路
(硫黄山ー羅臼平)
知床五湖
93
岩尾別
登山口
岩尾別温泉
木下小屋
南岳
二ツ池
オホーツク展望
560m岩峰
650m岩峰
オッカバケ岳
三ツ峰
弥三吉水
サシルイ岳
自然センター
極楽平
銀冷水
大沢
羅臼平
羅臼岳
国道334号線
(知床横断道)
334
お花畑
屏風岩
N
0 0.5 1km
愛山荘
泊場
スズラン峠
知床峠
第一の壁
ハイ松原
羅臼温泉
登山口
羅臼湖
入口
里見台
334
羅臼湖
知床羅臼
ビジター
センター
羅臼温泉野営場
岩尾別ルート
羅臼温泉ルート
硫黄山ルート
縦走路